

J-クレジット制度認証委員会 御中

実績確認概要書

平成 28 年 1 月 4 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー認証機構

1. 排出削減事業計画の概要

| | |
|--------------------|--|
| 排出削減事業名 | 糸島・佐賀ハイブリッド栽培研究会における空調機の更新 |
| 承認番号 | JCDM-PJ1422 |
| 排出削減事業者名 | 糸島・佐賀ハイブリッド栽培研究会 |
| 排出削減共同実施事業者名 | 一般社団法人 低炭素投資促進機構 |
| 事業実施場所 | 松尾農園 (福岡県糸島市志摩町野北 3 9 0 8) 原田農園 (佐賀県佐賀市久保田町大字久保田 2 2 8 2) |
| 事業の概要 | 施設園芸用ハウスにおいて、A 重油焚き暖房機によって暖房を行っていたが、高効率ヒートポンプを導入し、暖房用エネルギーの使用量と温室効果ガス排出量を削減する。 |
| 排出削減量の計画 | 2012 年度 20 tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 20 tCO ₂) |
| Jクレジット・国内クレジット認証期間 | 開始日 2013 年 1 月 1 日 終了予定日 2021 年 3 月 31 日 |
| 排出削減方法論 | 方法論番号 004 空調設備の更新 |

2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

| | |
|-------|--|
| 排出削減量 | 120tCO ₂ (2013年4月1日～2015年3月31日) |
|-------|--|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きをおこなった。

| 要件 | 実績確認手続き |
|--|--|
| 排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること | 排出削減量につき、以下を確認した。 1) 承認済排出削減事業計画に従い、施設園芸用ハウスにおいて、A重油焚き暖房機が高効率ヒートポンプに更新されていることを、現地視察の際に確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績により確認済み。 3) 事業開始日が適切に把握されていることを事業者への質問やエネルギー使用実績データにより確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。 |
| 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること | 排出削減量につき以下を確認した。 1) モニタリング方法については、国内クレジット制度第20回認証委員会配布資料「国内クレジット制度における施設園芸用ヒートポンプ導入に伴う温室効果ガス排出削減に係るモニタリング方法（農水省）」を採用していることを確認した。 2) ヒートポンプ電力使用量は、電力会社からの請求書および実測値により算出・把握可能であることを確認している。なお、ヒートポンプ導入前の電力使用量については、負荷変動が十分に小さく検証結果の誤差が5%未満となることについて確認した。 また本データが正確に集計されていることを、関係者への質問、検算や集計データの突合等により確認している。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 |

| | |
|------------------------------|--|
| | 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。 |
| 算定期間が 2021 年 3 月 31 日を超えないこと | 本実績確認の対象期間は、2013 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が、2021 年 3 月 31 日を超えないことを確認した。 |

5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算 35.9kl であることを確認した。

以上